

《課題名》

当科における気道再建術の検討

《研究対象者》

2007年1月1日から2019年10月31日の期間中に滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科で原発性肺癌に対して手術療法を施行する目的に術前に胸部CTを撮影された方

2007年1月1日から2019年10月31日の期間中に滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科で原発性肺癌に対して気道再建術式を併用した外科治療が施行された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただかずに、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

(1) 研究の概要について

研究課題名：当科における気道再建術の検討

研究期間：滋賀医科大学学長許可日(2019年11月25日)～2023年12月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 《所属》呼吸器外科 《氏名》花岡 淳

情報管理責任者：滋賀医科大学 《所属》呼吸器外科 《氏名》花岡 淳

(2) 研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

肺癌に対する根治手術を行う際に、呼吸機能の温存等を目的に気道再建術を併用することがあります。今後、さらに良い気道再建術式を提供できるようにすることを目的にしています。現在までの治療経験を元にした手術適応、術式選択および合併症や疾患予後の解析を行うことで、今後の実臨床に役立てられます。また、現在までに蓄積された画像所見から気管・気管支樹の部位別の外・内径を測定し評価することで、最適な吻合方法を選択できるようになります。

(3) 研究の方法について

《研究の方法》

術前に撮影された胸部CT検査情報を元に、3次元画像解析ワークステーションSYNAPS VINCNTを用いて気管・気管支樹の各部位の気道外・内径を測定し、性別・体格(身長・体重等)別に評価します。気道再建術式を併用した外科治療を行った手術を行った方の臨床背景(年齢、性別、BMI、PSおよび併存疾患等)術前検査所見(画像検査、肺機能検査、採血結果等、手術適応の判断、選択術式と実際の手技、周術期経過(ドレーン排液量、合併症・死亡等)および、予後(生存率、死因等)について電子カルテ情報を元として、手術を行った方の実際の経過を検証し、臨床各因子との間に関連性があるかを調べます。

(4) 個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には、(西暦 2023 年 12 月 31 日までに) 下記 (8) にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 呼吸器外科 花岡 淳

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2244